

JARLクラブ登録番号 10-4-68

発行 JA8AJE 笠原 勝 JA5CUX 生越 重章

編集 JA8AJE 笠原 勝

004-0041 札幌市厚別区大谷地東3-2-1-1013

(ja8aje@jarl.com)

レポート管理 JR3KQJ

(jr3kqj@jarl.com)

会報発送管理 JH3EZV

(jh3ezv@jarl.com)

郵便振替口座 00860-1-13444 名義：全国CW同好会

KCJホームページ <http://www.jarl.com/kcj/>

OAM 毎日曜日 09:00 JST 7.015 ± QRM

サテライト移動

JH3HGI 吉村豊樹

'05年夏頃から衛星通信にカムバックしていることは以前のザ・キー【にわかサテライターのサテライト挑戦記】で述べましたが、その後、移動運用にアクティブな各局が移動先からもサテライトに出てこれるようになりました。

そこで、私もやってみることにしました。しかし、常置場所からの衛星は FT-847 を使っているの、このリグ1台で事が済みますが、このリグを持ち出すわけにはいきません。そこで、ヤフーオークショ



ンを覗いてみたところ、おあつらえ向きに FT-857DM の新古品が出ているではないですか！このリグは以前から欲しいと思っていたものです。早速入札して、何とか落札できました。

これで FT-100DM と FT-857DM が揃って、移動先から衛星通信をする準備が整いました。

FT-857 の変更申請が通るまで FT-100 で送信、857 で受信をすることにしました。写真が移動先からのサテライト運用中のものです（変更申請後）。

リグが整って、取りあえずアンテナはモービルホイップでループテストだけ試しました。結果はまずまずでした。

その後、アンテナを2エレ2バンド八木としましたが、このアンテナ、435MHzのエレメントへの給電は直接されていない（誘導による？）ため、VO-52では、ダウンリンク信号はよく聞こえるのに、アップリンクが弱いのです。そこで、ラディックスという会社の 145MHz 3エレ、435MHz 6エレというク

ロス八木を導入しました。ただ、435MHz が6エレというのは、ちょっとビームが鋭くなりすぎるのでは、と思って3エレとしています。

写真がそのアンテナです。移動先ではアンテナは仰角も方位も固定しています。FO も VO も南北の軌道ですので、東側を通るときは東向き、西側を通るときは西向きに固定しているのです。

現在、移動先からサテライトに出る時の設備は以下のとおりです。

up FT-857DM(20w)、down FT-100DM、ANT 435-145MHz とともに3エレクロス八木、ロギングは富士通 LOOX と USBIF4CW の組み合わせで、EzLog を使用しています。

これで、2台のリグを重ねて助手席に置き、左手でドップラーシフトに対応するため VFO を回しながら、右手で PC キーイング+ロギング入力をしています。



私の常置場所近隣の市・郡は HF 帯では雑魚ばかりになっていますが、サテライトではまだ需要が多いようで、移動先からサテライトで CQ を出すと、怒濤のようなコールをいただきます。移動サテライトにまだ慣れていないため多くの方からコールいただいても、十分に取れないことが多く、ご迷惑をおかけしていますが、懲りずにコールをお願いします。最近はサテライトもほとんどが【常連さん】になってきました。まだサテライトに出ておられない CWer の皆さん、VO-52 なら、リグさえあれば、アンテナは本当に GP でも交信可能です。ぜひサテライトでもお会いしましょう！！

ダブルダイヤル CW QRPp トランシーバ

2006年 自作品コンテスト

「自由部門優秀賞第2席」受賞作品

JJ1INO 井上洋輔

特 長：2個のダイヤルで 各々周波数の設定（記憶）ができ、スイッチで 即切換えられる

使用方法：QRPp 運用では、珍局のダイヤルでの順番は最後であり、数十分待ちもあり、その間ダイヤル1は珍局の周波数をセット、ダイヤル2で他局を追いかけ、時々スイッチで切換えてダイヤルの状況を見にい

規 格：

- 1) 7MHz, CW 専用、QRPp、送信出力 100mW、
- 2) 送信部に BPF, LPF（第2高調波用減衰極付）を採用し、送信スプリアス特性は良好
- 3) CW 通信の操作性を重視した、サイドトーン付きフルブレークイン方式、キーを押せば送信、放せば受信の簡単操作と送信操作中でもバンド内がモニタできる

4) 水晶3個使用の VXO により周波数安定度がよく、7.000~7.030 MHz をカバー

5) 送信時周波数シフト機能付きで、相手の周波数にゼロインが可能で応答率向上

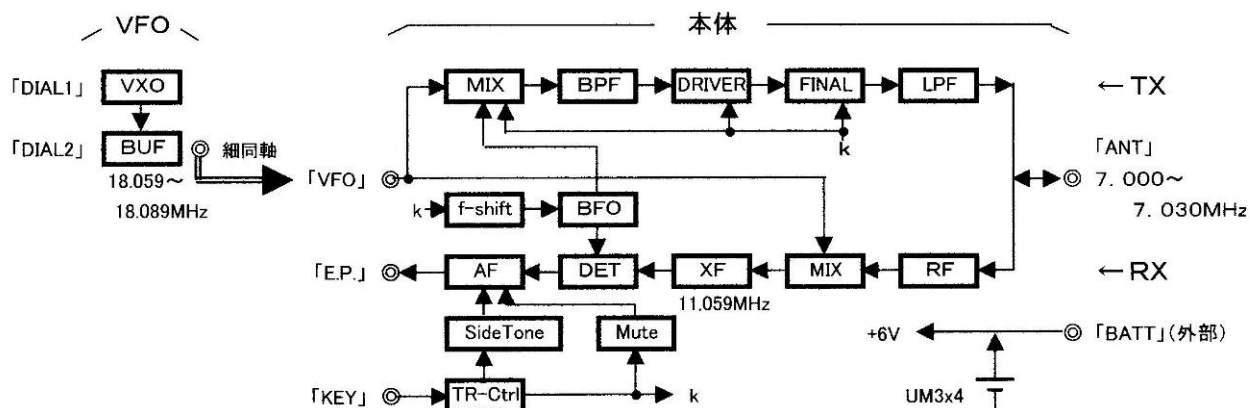
6) 受信部は RF1 段のスーパーヘテロダイン方式、IF はクリスタルフィルタで高選択度

7) 水晶 (VXO: 18.100MHz 3個、XF: 11.059 MHz 5個) は市販品を使用し、安価、短納期

8) 電源電圧 6V で、受信時 15mA、送信時 65mA、AF は 1mA 以下で、全体的に省エネ設計

9) VFO は細同軸線一本で簡単接続。ケーブル引出口変更で上向に置けダイヤル操作容易

10) 本体（電池内蔵）(90mm x 60mm x 40mm) , VFO (80mm x 30mm x 50mm) (突起物除く) 小型



QRPp免許状？

JJ1INO 井上洋輔

通常、免許状の空中線電力は、最低でも 10W でした。QRPper にとってはなんとも納得のいかないものがありました。最近、何人かの QRPper が、空中線電力 5W の免許状を取得したと聞き、古くなったメーカー製のリグ (144,430 MHz) の撤去の変更申請に、空中線電力 0.5 W(QRPp)を含めて申請し、免許状を受領しました。

まだ、50MHz と 144MHz にセミキットのピコシリーズが残っていますが、1年以内に自作機に取替え、名実共に「CW QRPp, 自作」の状態にしたいと

思っております。

しかし、CW 愛好家にとってチョット残念なのは、CW オンリーでも、電波型式の欄は複合記号なので、CW=「A1A」が 1.9MHz 以外は明確に表現されないのです。昔の表記方式が良かったのに、と思いました。一応、要望書を付けましたが、別に問い合わせ等はありませんでした。

(編集部注：メインリグは、1999 年に郵政大臣賞をいただいた、HF 9Band TRX だそうです。また、CW オンリーなので、マイクはありません、とのこと。)

(ザ・キー 2005 年 1 月号から再掲)

KCJ Members' Profile

CW で交信する。顔はもちろん声も分かりません。でもこの信号はどんな人が送ってきているのだろう。KCJ メンバーのプロファイルを紹介します。なお、それぞれのメンバーが、アマチュア無線に関する情報収集をどのような方法でやっているか、複数回答可の形で 6) の質問と設定しました。この回答は最後にグラフとしてまとめてあり、文中には 1) ～ 5) および 7) ～ 8) の質問に対するものを載せています。



JA1DD JR3KQJ JA8PMN JA1BML JA7DJO JA2FEA JK1CWR JA1TCF JA7GAX
JM1HUX JH7FQK JR3XEX JA9CZJ JA2MYA JG1BAH JH4PCD JA4TY JR2GCS
JE6QFP JA8AJE JA6BJV JA3ATJ JA0AAQ

(写真は 2004 年当時、現在会員でない方も入っています。06-08-15 現在 会員数 161 名)

JA0AAQ 羽入 敏夫

1) 自局の歴史：(免許時期、QRT 期間など)

1960 年電話級、まもなく子育て、オーディオで QRT 約 10 年、86 年電信級 (Hamfair 会場で)、88 年第 2 級、89 年第 1 級。しかし、電信はできない。自らをキックするため 2000 年 KCJ 入会。以来、電信大好きとなる。

2) 無線局の構成：(その推移)

最初は自作 A3 (3.5, 7MHz) トランシーバ 3W。再開局後、IC-750, TS-950SDX (XYL からのプレゼント)、FT-1000MP MKV (中古)、そして IC-7800 (言うことなし、最高だ!) となっている。15m の自立タワーにアンテナ各種。

3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など)：

国内外局との QSO、特にコンテストや移動局へは、呼び専門であるが、それなりに楽しんでいる。DX は特に追いかけていないが、BURO 経由での外国局のカードは楽しみにしている。

KCJ に入ってから、QSO は CW によるものが

ほとんどとなってしまった。

4) 今後やってみたいこと：

やはり未体験の PSK や RTTY、SSTV などにも挑戦してみたい。

5) CW に対する思い：

やはりずっと長い間、ハムとして CW は憧れだった。しかし、いまだに CW によるチャットは難しい。和文は試験会場に忘れてきているので、英語短文でのチャットができる域に達することが夢。

7) 無線以外の趣味：

いまだに好奇心だけは健在で、実にさまざまなサークル、市民大学などで楽しんでいる。最近「BLOG」を書くことかな。必然的にカメラをいつも携帯するようになった。

8) その他の一言：

いつまでも健康で CW を楽しんで生きたいものと思っている。そのベースになるものが気力、体力だが、最近、いささか心配になってきている。

JA0EMS 錦織 喜和

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

1968 年 AM で開局。AM から SSB の移行期で、AM では DX ができず、ローカルの OM から CW をやりなさいとアドバイスを受けて、69 年から CW を始める。

学生時代に FT101B を購入したが、相変わらず CW 主体で QRV。79 年頃から、コンピュータにはまったり、就職や結婚等で QRT。91 年に再開。やはり CW 主体。

もともと、顔が見えない会話は苦手なので、CW はその点少し楽。1 アマ受験で覚えた和文で QSO したこともあったが、再開後は、すっかり和文ができなくなった。

2) 無線局の構成:(その推移)

TX88D で開局。50MHz の部分を取って、1.9MHz が出られるようにした。9R59D に国際電気の CW 用メカニカルフィルタを入れた。その後 FT101B、再開後 TS950SDX に。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

CW にしてからコンテストにはまり、コンテストと DX を楽しんでいる。現在もそうだが、最近の仕事が QRL で、疲れはてて元気が出ない。はんだごてを持つのも大好きだ。

4) 今後やってみたいこと:

思いっきりコンテストや DX に没頭したい。QRP のトランシーバの作成も考えてる。

5) CW に対する思い:

特にはないが、強いてあげれば CW の方が気が楽、コンテストや DX が楽しめるから。面白いからやっているだけ。

JA1COP (JA4OEY) 佐々木 広武

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

1970 年: SWL JA4-5635 でハムに目覚める
電話級 JA4OEY を岡山県玉野市(現 岡山市)で開局。

1972 年: 電信級

1975 年: 2 アマ JA5QYR を香川県直島町(現 丸



亀市)で開局

1978 年: 1 アマ

1981 年: 2 総通

1991 年: CQ 誌ベストレポート賞受賞

1992 年: JARL アワード委員 (現在まで 7 期就任、今期から委員長)

2003 年: JA1COP を千葉県浦安市に開局

2006 年: JA6VXU を福岡県行橋市に開局

コンテスト優勝入賞多数、アワードは VU4000 (6mCW 特記) など。

東京ディズニーリゾート ARC 会長代行。

2) 無線局の構成(その推移):

現在の主力リグ: JST-245D, FT-655, TS-790, IC-1271 あと、それぞれのリニアです。

過去の思い入れリグ: TS-511, AM-3D, スカ 6, IC501, TS-1300 など。中学校で作った VFO-1 も自作の思い出です。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

アワードはマイペースで、コンテストがメインです。DX は 6m が本気で、HF はお付き合い。移動は年に 3 回程度に減りました。

4) 今後やってみたいこと:

HF の本格的な DX と衛星通信をやりたいと思っています。アワードもたくさん欲しいし、コンテストはマルチ種目で優勝したいです。まだまだこれからと思っています。

5) CW に対する思い:

なんてったって、CW はシャックが静かなのがよいです。山でやっているのと怪しまれやすいですが、短点と長音に思いを込める、単純ですが最高の通信技術だと思います。いつまでも同好の友が、今後ますます繁栄されますことを期待します。

7) 無線以外の趣味:

ディズニー関係です。92 年に国家公務員から転職して、今の職業にもしてしまいました。Hi

8) その他一言:

KCJ は権威のある団体で、入会するまでに自分で納得のできるまでの実績を積んだことを思い出します。今後も権威と伝統を継承し、たとえ少数会員となっても、紳士的な団体であり続けることを期待しています。

JA1CSB 横山 實

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

1959 年 807s と高 1 中 2 自作機で開局、電話級が誕生し、三級通信士の免許でアマチュア無線ができるようになった年です。QRT 期間はありません。

75 年に、1 アマ取得 500 W, 1 kW と QRO しました。

2) 無線局の構成(その推移):

これまで使用した無線機: 807s と高 1 中 2 自作機、BC-779+Xcon, FT-DX400, TS-900S, JST-245, IC-7400, JRC505NLine, IC-71, IC221。まだあった

かな、自作リニア 807x4, 811x4, 3-500x2 等

現在は、JST-245+JRL-2000FH, IC-7400, 操作が
楽でつまらないですね。Hi

3) 主な無線活動:

CQ はほとんど出しません。呼び専門、自作がおもしろい。

4) 今後やってみたいこと:

PIC マイコンで遊びたい。

5) CW に対する思い:

単に CW はおもしろいからやっているだけ。

7) 無線以外の趣味:

篠笛、竜笛。

JA1FCY 難波 正義

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

業務用免許でもアマチュア無線ができるようになったとき開局、1960 年、電波が出したくて。Hi と
ころがゾウーウーと細々と、第三の人生に入り
50.80.喜んで!とこれから頑張りますよ。

2) 無線局の構成(その推移):

一番初めは 6V6GT 一本、水晶挿してカソード開
閉するヤツ。受信は 5 球スーパーですぞ! (1-V-1
なんかではナイ)。その後 Q5er とかを付けて初め
て W とやったときはカンゲキでした。

今では仕方なくチャント箱に入った機械を使っ
ていますが、デイツとらない無線機なんて墮落した
もんでケータイと同じ。Hi

4) 今後やってみたいこと:

全てはこれからです。SK までの時間はだんだん
減ってきますが、電波出します。AJA, DXCC など
もどこまでできるか分かりませんが、スタートしてい
ます。但し LOW COST に徹するべきだと考えていま
す。

5) CW に対する思い:

偉大な文化遺産であるトンツーは、なんとしても
次の世代へ継承して行きたいと思います。IT の発達
によりトンツーもいろいろと便利になったが、PC
NET で相手と話ながら電鍵(いやボタン)を押すだ
けの人が増えないよう願っています。

7) 無線以外の趣味:

囲碁、初段の足元にでも近づきたいがナカナカ。
海釣り、時間がなくて近頃はサッパリ。

8) その他の一言:

JARL QSL 転送に 8-10 か月を要していますが、
これを異常と思わず遅れを取り戻す処置を講じない
のは、JARL が異常では。電子 QSL には少し抵抗を
感じている私ですが、Windows 98 のサービス停止
のようにならないことを願っています。Hi

JA1OYB 内田 重雄

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

1964 年 2 月 20 日付けでコールサイン JA1OYB、
70 年くらいから 3 年間 QRT

2) 無線局の構成(その推移):

開局は TX 807 シングル、モジュレーターは
6BQ5PP, RX 高 1 中 2+デリカ(三田無線)プラグ
インコンバータ。

使用したリグ:

八重洲無線: FRDX400, FLDX400, FTDX100,
FT625D, FT225D, FT101E, FT101ZD, FT901DM,
FT736, FT850, FT1011

トリオ: TX88A, 9R59, TS520, TS820, TS430S,
TS600, TS830S,

ICOM: IC756PROII 等が主なリグです

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

ACC, JAG メンバー

5) CW に対する思い:

CW 専用帯域にこれ以上狭帯域デジタルを割り込
ませないでください。

7) 無線以外の趣味:

下手ですがゴルフ、電鍵の収集。

JA1IVL 金丸 務

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

JA6AFD: 1959 年 4 月 8 日開局、60 年 1 月 15 日
関東地区に住所変更と同時に休眠。

JA1IVL: 61 年 7 月 6 日、JA6AFD から変更。

JH00OU: 79 年 9 月 21 日、開局 約 1 年運用、
JCC600 完成(未申請)

JA1IVL: 72 年 1 月 30 日 10W にて運用再開
*QRT 期間...60 年 1 月~79 年 9 月まで住宅、
CM 事情で QRT。

2) 無線局の構成(その推移):

JA6AFD: A3 3.5, 7MHz, 10W で開局、59 年
8 月から A1 を追加。

JH00OU: ミズホ DC-7X (7MHz) 2W、キット
の自作、CW only。

JA1IVL: 83 年 1 月 30 日 TS-180V, TS780,
TR9000, 10W にて再開。90 年 6 月から
IC-760pro (50W) に QRO。2000 年 1 月
に FT-847 で VU も 50W に。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

JA1IVL 再開局(83 年 1 月 30 日)、同年 9 月 1
日にスタートした AJA ハントがメインで QRV。
JARL の窓口で AJA 申請の度に「CW 特記を!!」
と嘆願?するも特記は認められないまま、CW の
みで 1 万ポイント~#1 を取得(96 年 9 月 13 日)。
DXCC は取得済み。

「全関東交信賞」も発行者から「CW 特記はない
が CW のみでは #1」の Mgr のコメントのメモが
添付された。

移動運用は、海外はサイパン、国内移動は、最近
は年 2 回 3 回程度。

4) 今後やってみたいこと :
今のところ特になし。

5) CW に対する思い :

中3のころ海外の放送を聞きたくて自作した5球スーパーで短波放送を聞くうちに、14MHzのA3でハムのQSOを聞く。CWも聞こえ「何だろう?」。これがCWの虜になるきっかけとなり、高校生になってから近所のプロ(当時の電報局)から和文から教わり和文80字/分は受信できるようになったが、長いQRTのため?和文には自信をなくしている。

CWは静かに、しかもQRPでもDXが楽しめるのが魅力だ。

7) 無線以外の趣味 :
囲碁

8) その他一言 :

60年の「QSOパーティ」で上位に入ったのがきっかけでコンテスト大好きに・・・, 最近ではコンテストにも参加するのが少なくなった。

JA1TCF 朝香 幸男

1) 自局の歴史(免許時期、QRT期間など):

1965年開局、66年からCW運用を始める、病气入院中以外は1か月以上にわたるQRT期間はない。

2) 無線局の構成(その推移):

開局時はすべて自作。メーカー製のRIGを初めて購入したのはスターSR550(RX)。その後SSB時代にFL50B, TS520。途中は?。IC575, IC275, TS850S, JST245など。一台一台結構長く使用している。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

アワードは、主にAJAの追いかけ、DX。コンテストは熱が冷めてきたというより、設備が追いつかないのでそれなりに参加。

サテライト(VO-52, FO-29)に、はまりだした。

4) 今後やってみたいこと :

サテライトの設備の増強、離島での移動運用、電子QSLへの参加。

5) CW に対する思い :

特にないが、無線通信をやっているというような実感かな。

7) 無線以外の趣味 :

読書(推理小説、時代劇小説)、ドライブ(小旅行)。

8) その他一言 :

身体が動くうちは、いつまでもアマチュア無線を続けて行きたい。

JE1KNT(ex:JR3RPD) 坪内 幸夫

1) 自局の歴史(免許時期、QRT期間など):

1971年JE1KNT開局、その後大阪でJR3RPD開局、海外駐在で免許失効。

1991年7M1JMN開局、

1997年JE1KNT再開局。

2) 無線局の構成(その推移):

開局当初: FT101E, TS-900S, その後TS950S, TS-2000(移動用50Wに改造)。

現在アパマン7階部分、屋上にクリエートV-DP(730, 830), LW+ATU。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

開局当初: DXCC/JCC、海外駐在中取得のQSL喪失。

最近: KCJA, AJA, 移動運用等。

4) 今後やってみたいこと :

衛星経由のCW通信、海外での運用。

5) CW に対する思い :

若いとき(56年)に苦勞して覚えたCW通信を今後も火を消さないように頑張りたい。

7) 無線以外の趣味 :

ドライブ、旅行、各種自動車レース観戦。

JH1BAM 鈴木 幹雄

1) 自局の歴史(免許時期、QRT期間など):

高校生のときに免許を取得、21と50MHzで無線を始めました。学生時代は大学の無線クラブなどでも活動していましたが、社会人になってからはほとんどQRT状態でした。1990年頃に無線を再開して、DX主体で運用中です。

2) 無線局の構成(その推移):

トリオの9R59/TX88のキットで無線を開始。アンテナはHF帯がGPとダブレット、6mは八木を使用していました。社会人になってからはQRT状態でしたが、90年頃に無線を再開。そのときには無線機などに関してもすっかり浦島太郎状態でしたので、昔使っていたトリオのHF帯無線機を購入して再開しました。以来、HF帯以外もほとんどがトリオ/ケンウッド製品を使用してきました。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

KCJに入会した頃は、CWのWAJAなどを追いかけていました。現在は、もっぱらDXCCに専念しています!

4) 今後やってみたいこと :

海外の珍しいエンティティからのペディション参加。

5) CW に対する思い :

CWマンというほどスペシャリストではありませんので、CWの運用術はまだまだ未熟と思っています。縦ブレ電鍵などもうまく使えませんし、試験のために必死に覚えた和文も今では忘れかけている有り様です。但し、CWによる交信の醍醐味・すばらしさは一生忘れられないものと思っています。

JH1TFL 足立 征一

1) 自局の歴史(免許時期、QRT期間など):

・・・物語風に・・・

1959年10月電話級を4エリアで取得。
その後、就職で1エリアにQSYし、67年JH1TFL
を6mオンリーで開局。

75年、転勤で7エリアにQSY。

76年3月、JH7PCHを開局。

JA7PCH平松さんのカードがどさっと「誤転送」
され、しかもほとんどCWであることにビックリす
る。ローカル局から平松さんのすばらしさをいろ
ろと聞かされ、CWに触発される。JA7PCH平松さ
んとの1st QSOは絶対ホレで、と決心する。

76年6月からCWの練習開始。しかし、仕事が
超QRLですぐに頓挫。しばらくして、なぜか職場
のハム仲間が一斉に上級ハムを目指し始め、また火
がつく。職場にプロの「1通」のOMがいて、6つ
くらいの信号をいっぺんに聞いて書き出す神技を見
せられ、度肝を抜かれる。

80年、新年の抱負としてCWマスターを掲げる。
同年6月、電信術選抜試験に合格、7月「電信級」
取得。早速、局免を変更し、CWのQSOを始める。
10月期の国試で「2アマ」を受験。10月13日から、
いよいよ「和文」の練習を始める。12月20日「2ア
マ」合格通知受領、XYLからマニピュレータのX
マスプレゼントあり。

81年1月、いよいよ「1アマ」へのチャレンジを
始める。2月9日、練習テープのホレ50字が初めて
100%取れる。(内容を覚えてしまったか?) 4月期
の国試に申請を出す。電信術は3月31日と決まっ
た。しかし、手崩れなどスランプ状態、気が焦る。
英文の練習はほとんどしていなかったが、軽く60
字はクリアできていた。3月28日、結膜炎に、コン
ディション最低。3月30日、ついに国試前夜。XYL
が「宮城の彼女から激励の電話があったよ」という。
なんと、JA7PCH平松さんからの有線ブレイクだっ
た。「世界中で一番嬉しい」有線BKだった。ふと気
がつくと、緊張できりきりしていた胃もすーっと楽
になった。4月1日学科試験終了。ついに終わった。
7月1日「1アマ」合格通知(やっと)届く。バン
ザ〜イ! 7月21日「1アマ従免」入手、ついに「1
アマさん」になった。

82年7月25日、JLRSの総会に突入し、JA7PCH
平松さんと初めてアイボールQSOする。

83年、JA7PCH平松さん、JG1BGK武山OMの
推薦を受けることができ、KCJに入会、現在に至る。

2) 無線局の構成(その推移):

TR5000 1台で開局。その後TS520をメインに、
ハンディ機、モービル機と、パーティカルアンテナ
で団地ハム運用。

2~3年前HF~430の100W機にアップグレード。
しかし、諸事多用でQRT状態。なるべく早い復帰
を願っています。CW受信は、かなりのリハビリ
が必要かもしれません。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

「中年1アマ挑戦記」、「電信修行小習事」という
記事を、職場の無線クラブの会報に載せたところ、
CQ誌編集者の目に留まるところとなり、CQ誌へ1

年間の連載を依頼される。

82年7月号から12回執筆。また、これがきっか
けとなり「JARLアマチュア無線ハンドブック」の
「CWの覚え方」のコラム執筆を依頼される。(諸先
輩。大御所を差し置いてとんでもないことをしたと
恐縮、赤面しております。)

職域クラブの活動で、コンテスト、移動運用に参
加する。個人的なアワードは、WACとJCC200程
度。

4) 今後やってみたいこと:

いろいろあって、絞り込みに苦慮していますが、
経済的な制約で範囲は決まります。海外旅行や、秘
境の旅、などなど。

5) CWに対する思い:

ボケ防止に最適だと思います。頭を使って身体を
動かすのがいいそうで。最近、太極拳にはまっている
のもこのためです。

ハムを始めたときは「電信なんてできるようにな
るはずがない」と心に決めていて「電話級」ができ
たのを大喜びして受験しました。

それから、20年以上もたってCWを始め、その
面白さにすっかりはまってしまいました。若い頃か
らやっておけば、もっとうまくなれたのにと反省し
きりですが、それなりに楽しもうと思います。とは
いうものの、英文・和文の、ちゃんと送信・受信の実
技試験を受け、学科も「記述式」で受けた、「国家試
験らしい国家試験」をクリアした自負がちょっとだ
けあります。Hi

7) 無線以外の趣味:

水墨画、太極拳(現在2級、1級・初段を目指し
ています)、茶道(一応免許皆伝)、パソコン、書道
(まだへたくそ)、篆刻、旅行、お酒(大好き)。

8) その他一言:

できるだけ早く、お空にも出たいと願っています。

JJ1INO 井上 洋輔

1) 自局の歴史(免許時期、QRT期間など):

1976年、CW、QRPP
で開局。時代は真空管か
らトランジスタへ変わり、
新たにトランジスタ回路
の勉強から開始。

時代をさかのぼり、2
アマ合格は60年、高校2
年のとき。しかし、試験
には自信があったが合格
通知が来ない。友達が「秋
葉原の新聞に名前が載っ
ていたぞ」と教えてくれ



たので、学校を休んで御茶ノ水の電波監理局まで確
認に行く。係官曰く「合格しているよ、従事者免許
の締切りが近いので急がないとキャンセルされる
よ」。またまた学校を休んで従免申請書を電監へ直接

持参。結局、1次試験、2次試験、実技試験等も合わせると数回、仮病（腹痛等）で学校を休んだわけで、母親が卒業面談時に、「井上君は身体が弱いのですか？」と言われたようだった。Hi。

この頃は、真空管時代の後半、東通工（ソニー）、春日無線（トリオ→ケンウッド）の時代。当時は14MHzでオーバーシー、CW主体のSWL活動中。RXは真空管式の高1中2や第2IF 50kHzの高選択度？のダブルスーパーや0-V-1等、もちろん自作機。球はST, GT, MT管。ヒータの点灯が手で触れて温かくなるまでしばらく分からないメタルGT。錆びたメタル管をペーパーで磨きペンキを塗りなおしたこともある。hi-gmの6AC7は、差換えるだけで感度が上がるのがよく分かった。

毎朝アフリカのCR5ARが599で入感、アンカバーかと思いつつもJARL経由でSWLレポートを送ったところ、絵葉に書いたカードが効を奏したか？QSLがダイレクトで届いたときにはビックリ。SWLにも100%QSLを発行してくれるXZ2TH、辞書用紙のような薄手のQSLカードが懐かしい。

当時はAM全盛、SSBが出始めのころ、14MHzSSBでXE1CVを受信したが、RXは0-V-1でダイヤルから手を放すと周波数が変わりもがもが状態。

61年入社。本業はこのころまだまだ珍しいデジタル、コンピュータ系。ICは勿論、シリコントランジスタもなく、ゲルマニウムダイオードのAND, ORゲートとトランジスタのフリップフロップ回路を配線で組合せて四則演算回路を組むなど、原始的な時代。しかし、時代の進歩は速く、近年のパソコンのことは詳しくない。近年の機器は部品屋さんが作っている割合が大きく、個別部品を組立てて作ることが少ない。（チョット脱線）

結局、定年まで本業で無線機の設計をしたことがなく、これが無線の趣味を長続きさせている要因のひとつ。もし、本業が無線だったら今の趣味はパソコンだったかも？。

2) 無線局の構成（その推移）：

主にHF帯のCW専用、QRPpの自作機。アンテナ、LW（机上のアンテナチューナで1.9～28MHzに合せ込み）。局免の空中線電力、500mW。

現有機は16台、自作、セミ自作（キット）。



メーカー製のリグは持っていないので、展示会で新製品のリグを見ても操作方法が分からずお手あげ状態。

自作機は全てCW通信の操作性を重視したフルブレイクイン方式で、その性能は機器ごとに異なるが、自分の送信信号を自分の受信部でモニタする方式のメインリグ「HF9バンドTRX」の性能には満足。

3) 主な無線活動（アワード、DX、移動など）：

WACA（10MHz、CW、QRPp）

WAGA（10MHz、CW、QRPp）

WAJA（1.9～14MHz、CW、QRPp）

JCC750（7,10MHz、CW、QRPp）

最近数年間は、毎年ハムフェア自作品コンテストに、CWとQRPpにこだわった作品を応募し、最優秀賞（総務大臣賞）を3回受賞などを達成。

4) 今後やってみたいこと：

全ての人と、全ての場所と、全てのバンドでQSOしたい。

5) CWに対する思い：

CWしかやらない。マイクがない。

7) 無線以外の趣味：

バイクツーリング。

8) その他一言：

CWと、QRPpと、自作にこだわり、全ての人と、全ての場所と、全てのバンドでのQSOを目標に、通信の原点であるCWと地球に優しいQRPpとアマチュアの原点である自作機で、細くとも長くアマチュア無線を続けていきたい。

JJ1KXB 大石 藤夫

1) 自局の歴史（免許時期、QRT期間など）：

1976年7月開局。

2) 無線局の構成（その推移）：

固定局HF：TS950SDX, VU：FT736,

サテライト：IC910, 移動局：FT817（1.9～430）。

3) 主な無線活動（アワード、DX、移動など）：

99% CW、DXCC、AJA、WASA、JCAを追いかけている。

5) CWに対する思い：

最近、和文も含む「のんびりQSO」を始めた。CWはとにかく楽しい。

7) 無線以外の趣味：

読書、ゴルフ、旅行。

8) その他一言：

CWを通じて、多くの方と友達になることが嬉しい。

JK1MIG 鈴木 信克

1) 自局の歴史（免許時期、QRT期間など）：

1978年1月7日 免許

1978年3月7日 開局

QRT 時期はありませんが、途中極めて細い糸の状況になりました……。一時パケット通信にのめり込んだりしていました。

2) 無線局の構成 (その推移):

1978 年: RJX-601 50MHz AM/FM 8m 高
5/8 ラムダ 2 段 GP

1980 年: TS-520V 21, 28MHz SSB 10m 高
逆 V アンテナ

81 年初めて CW での QSO。ベビー電鍵を使っていた。そのままでは、ガタガタして打ちにくいので、親父が飲んでいた空いたサントリーの角瓶を寝かせてその上にベビー電鍵を紐で固定しキーイングしていた。これが結構調子よくて、ずいぶんこれで縦ぶれキーが上達した。

CW を初めてまもなく初めて DX との QSO をする。21MHz UA0CBY Alex。

83 年、IC-551 6m SSB CW 6ele yagi、HF は、3ele HB9CV として、ビームアンテナを使い始める。カツミのエレキーを使い始める。縦ぶれキーも併用、この時期はハイモンド HK-704 を使用し、ベビー電鍵とは比較にならないほどの打ちやすさに感動……。

86 年、TR-851 430MHz GP 10m 高。430 MHz で初めて和文 CW で QSO、半分くらいしかコピーできず……。以降、パケット通信の世界にのめり込む。

CW のアクティビティが極めて下がる。92 年結婚と同時に、アクティビティがさらに下がる。アパマンハムとなり、窓から V/UHF 用 GP をやっこのことで伸ばして 430MHz で、ときたま CWQSO。

01 年、住居新築、同時に 22m アンテナタワー建柱、FT-1000MP MARK-V、FTV-1000、4ELE マルチバンダー、6ELE 八木。

DXCC ハンティングにのめり込む。JCC、JCG アワードも同時進行。

03 年、念願の KCJ へ入会、CW に専念、SSB もたまに QRV。

05 年、VUHF の Rig IC-910D。

衛星通信 VO-52、FO-29 で 1st CWQSO Via SAT。大きなアンテナにプリアンプがいるのかと思っていたが、なんと、プリアンプなしに GP でかんたんに来た。

06 年: 以後現在に至る。

3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など):

HF/CW をメインとした移動運用、DXCC、JCC、JCG などのハンティング、モービル FOX ハンティングなど。

4) 今後やってみたいこと :

衛星用のまともなアンテナを上げて、色々な衛星で QSO。海外での CW 運用。

5) CW に対する思い:

CW はいいですね。大きな声を張り上げなくてもいいし、パイルアップのときもとにかく疲れないし FB ですね。弱い電波でも、かなりいけるのが FB!

和文でのんびりした QSO も好きです。(スロースピード)。

7) 無線以外の趣味:

野球審判 (とーちゃんアンパイア)、2nd (中学生) の野球チーム、パソコン。

JM1HUX 山後 勝崇

1) 自局の歴史:

1979 年 12 月開局……。従兄は'60 年代に取っていたのですが、転勤と帰宅が遅く、単身赴任したばかりの越中富山で HUX のサフィクスをもらったのは何かの因縁か。

2) 無線局の常置場所と構成:

QTH, AJA100123/東京都江戸川区江戸川。

IC-120 を車に搭載、144MHzSSB を運用するも今はない。その後富山で購入した IC-720/50W は 25 年経過するが、移動運用で 1.8~28 MHz まで元気に活躍中。Home Shack は、25 年前の TS-770 (144, 430MHz) と 10 年前購入の IC-736 (1.8~50 MHz) を使用。Antenna は場所を取らない Slopper, Zepp wire, Vertical Whip, Swiss Quad, Yagi。一本の Whip で、1/4, 5/8, 3/4, 7/4 λ と多 Band を載せ、大半の QSO に活躍。

3) 主な無線活動:

時間あれば Home でも、移動でも On air, Award で CW 特記を目指し、陸上のみ。

4) 今後やってみたいこと:

人がやっていることはぜひとも体験したい。

5) CW に対する思い:

省電力でよく飛ぶのと、リズムカルなので止められない。

7) 無線以外の趣味:

合唱……カラオケ大好きから今や生オケへ移行、10 数年前から年数回の割で東京芸術劇場、サントリーホール、オペラシティなどに出演。特に Mozart をやるよとの情報で合唱団を渡り歩く。(CW よりリズムカルなのでどんだんのめりこんむ)

8) その他一言:

一度しかない人生、悔いのないよう楽しく過しましょう。

もうひとつ追加……「歳相応の資格を取りなさい」と言われ、富山で夜な夜な酒を飲みながらお勉強、ステップアップ、電話級から 1 アマまで辿り着いた。

JA2MYA 白木 博

1 生まれ

岐阜市の西のはずれ、長良川のほとり。

昭和 1 桁生まれ、ひもじい思いを経験した時代。

2 アマチュア無線歴

1691 年山形県鶴岡市で開局、コールサイン JA7 AQL 3.5~28 MHz 10W A1 送受信機とも自作。

68 年、QTH を故郷の岐阜市に変更、コールサイン JA2MYA

72 年、1.9~21MHz 200W 28MHz 50W 145MHz 10W に変更。

85 年、1.9~21MHz 500W に変更。



3 運用歴

71 年開局以来今年まで、46 年間 QRT なしに運用する、我ながらよく続いたものと感心する。

この間 QSO 数は約 8 万局、交信内訳は国内約 2/3、海外約 1/3。

4 リグの変遷

開設当初は自作、終段管 2E26 シングル 10W, 受信機ダブルスーパー、FLR-50, FTt401, IC760PRO, IC7400, リニアアンプは FL-2000, FL2100Z を使用し現在に至る。

5 主たる活動

アワード：国内外の息の長いアワードを追いかけている。DXCC-322, 5Band WAC-完成、WACA, WAGA-完成、JCA-4708, WASA-790 など。

コンテスト：下手の横好きではあるが、可能な限り内外のコンテストに参加している、世界または全国の 1 位入賞の経験なし。

移動運用：サービス運用で呼ばれる面白さにはまっけてしまい、県内の珍市町村にでかけては、パイルアップを受けるのを楽しんでいる。車載リグ IC-706+ATU+Whip ANT。

衛星通信：IC-910 を使用し通信を楽しんでいる。ドップラー周波数を PC で補正するため、コンバータユニット CT-17 を購入したが使い切れず、どなたか使い方を教えてほしい。435-10el, 145-5el, 仰角 30 度固定で、水平方向のみ回転。

6 その他：

月間 QSO 数 200 局以上を目標に頑張っているが、この 5 年ほどは何とか達成することができた。

7 他の趣味：

パソコンいじりと読書。

JA2OLJ 岩川 吉伸

1) 自局の歴史（免許時期、QRT 期間など）：

1967 年春 大学の合格により下宿（名古屋市千種区）

1968 年 3 月 JARL の電話級養成講習会にて電話級 取得

1968 年 7 月 10 日 JA2OLJ 愛知県知多郡美浜町にて開局、3.5, 7, 21, 28, 50MHz A3h, A3j, F3 10W、送信機系統図、送信空中線を示す略図、無線常置場所半径 500m の範囲の略図を添付、無線活動は週末に帰宅し HF 運用。他は大学のクラブ局シャックから運用

1969 年春 JARL 電信級短縮コースにて電信級 取得

1969 年 6 月 24 日 A1 を加えて免許変更

1973 年春、大学卒業、一宮市へ修行のため勤務

1975 年 2 アマ取得

1975 年 2 月 14 日、愛知県一宮市へ常置場所 変更

1975 年末 大阪松原市へ修行のため QSY、

1977 年 TS600+2 B94 自作リニアで JF3RPX 開局

1979 年夏 故郷の愛知県知多郡美浜町へ QSY JA2OLJ 常置場所変更

1979 年 9 月 武豊町（現住所）歯科医院 開業、

1982 年 6 月 1 アマ 取得、

1982 年 美浜町にて 500W 開局、

1985 年 9 月 鉄人 35 号完成により 500W 武豊町へ QSY、

1986 年春 診療室の隣へ住居も QSY。

寝ても冷めても DX を追いかけて、JA2XW, JA2FJP, JA2IVY, JA2KSP, JR2KDN, etc. 沢山の友達もでき DXCC は P5 を残すのみとなるところで、QRP に転向現在に至る。

2) 無線局の構成（その推移）：

SSB の出始め期で HF 帯では A3 (A3h にあらず) の隙間に数局居るくらいのとき、親にヤエスの 400 ラインを買ってもらい、QRV。

一宮市へ QSY のころから、HF の CW に面白さを見つけ、また 7 階建てのマンションの屋上に W3DZZ ANT と 50MHz LogPeri 5ele を上げてほとんど毎日運用。自作の 50MHz SSB TRX が仕上がると、地上高もあり、聞こえるところ片っ端 QSO。

大阪松原しに QSY してから日本橋の無線機屋さんにてトリオの TS-600 を購入し、急いで 2 B94 のリニアを製作。近畿電監へ直接持ち込み、無事落成検査合格 JF3RPX にて開局、

故郷へ帰り、IC720A+IC-2KL で固定局開局。

途中で IC-750A, IC-551D, IC-251, IC-351 の ICOM 党に変身。

現在の武豊町へ QSY してから IC-600pro, IC-756, IC-756pro + JRL2000 に、途中で IC-PW1 も加わる。V/U は IC-280D, IC-1271。

QRP に転向してからは、自宅からは FT-817 (500mW)、IC-900D が目の前にあるだけ。移動運用時には FT-847, IC-706M k II G。

メッセージキイヤーは、なんと6台も。
現用のANT群??

1.9MHz タワードライブ(鉄人35号 +
CD-714X + CD-78 + CD-248A)

3.5MHz CD-78

7 14 21MHz CD-714X

10MHz 短縮DP

18 24MHz CD-248A

28MHz CD-10DXX

50MHz CD-6DX

144 430 1200MHz 色々

空を見上げるとアンテナがLusoの鉄人35号、電
電17m柱3本、鉄柱1本に所狭しとあがっている。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

昔JARLの監査指導委員10年くらい。いま地元のJARL登録クラブJA知多ハムクラブの万年会長。

アワード、国内読売1万局賞を取得、世界読売1万局賞の申請書準備中(仕事が忙しいので当分の間)。

DX P5以外すべて完了。悔いが残るのは1.9MHz帯で100エンティティ未ゲット(94CFM)。

移動、月2回の予定で我が家の大蔵省に車を買ってもらっても2か月に1回くらい。目標は大きく移動時のQSO年間合計10,000局。

4) 今後やってみたいこと:

PSK31モードのQRPにてDXCCがいくつQSO/QSLできるか。次のサイクルに期待する。

5) CWに対する思い:

英語が苦手にもかかわらずDX界に足を突っ込んだのは、CWがあったおかげ。SSBのDXCCはCW DXCCの後塵をいつも受けていた。

一宮市時代は薄給?だったのでパドルを金鋸の刃を細工して作り、台座はラワン材を使用。今でも隣の倉庫にあるはず。

7) 無線以外の趣味:

ゴルフ Hcp 11(実力は20??)。

ドライブ HONDAのNSXで日帰り、長距離(500-600km)ドライブ。一応IC-706MKII GでQRVできるようにはなっている。

8) その他一言:

JA6BJV 野口さん退会の報を知り、非常に残念と思う。9月3日のKCJ総会(大阪吹田市)には参加したい。

JG2GSY (also SM7XQZ) 山崎 鶴夫

1) 自局の歴史(免許時期、QRT期間など):

1981年、高校1年のとき50MHzで開局。TVIが発生し、4か月でQRTに追い込まれる。大学進学後に50MHzで無線を再開し、JCC/JCGを追いかける。大学卒業後は仕事が忙しくなり、91年から01年までQRT。

02年に留学中のスウェーデンでSM7XQZのコールを取得して無線を再開。50MHzでDX QSOに熱中する。同時に衛星通信にも進出。

03年に帰国し、やはり50MHzを中心に無線活動を続ける。

04年からHFにも興味を持ち、QRP CWでHFにもQRVするようになる。

2) 無線局の構成(その推移):

50MHzのRigは多数保有(IC551、FT690、TR9300等)。現在使用している主なRigはIC706MKIIG、FT817、FT690(まだ現役)。アパマンハムのため、固定のアンテナはモービルホイップとロングワイヤー+ATU。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

QRP、移動運用、衛星通信、アワード、コンテスト。

4) 今後やってみたいこと:

1.9MHzにQRV、RTTY、SSTV。

5) CWに対する思い:

人間が考え出した最初のデジタル。簡単だが、非常に奥が深い。QRPでもよく飛ぶ。

7) 無線以外の趣味:

バドミントン、スポーツ観戦(特にサッカー)、旅行。

8) その他一言:

JARLの講習会で、「無線は細く長く続けるように」と講師の先生に言われたが、まさにそのとおりだと思う。今から考えれば、10年間のQRTが悔やまれる。

JR2GCS 松下 久二生

1) 自局の歴史:

1974年~2006年まで32年間QRT期間なし、ただし、短期(83年海外出張で約3か月、89年我家改築で3か月)の中断があります。

2) 無線局の構成:

74年 4級局スタート、同年3級局に変更、

80年 2級局100W変更検査受験。

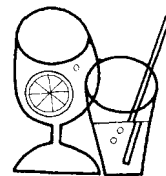
81年 新しく移動無線局50W局を常置場所に併設し、VHF、UHF帯が加わった。現在、自家用車に設備集約。現状での運用モード: 電信、電話、V/Uパケット通信、宇宙通信が可能。運用は、95%が電信のQSO。主たる無線機[固定]: FT-000MP(MK-V)、FT-847。[移動]: IC-706GM車搭載、FT-817(山歩き携帯用)。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

30年間の年平均90日の運用日、4日に1日のペースで、主にCW通信です。(年間運用最大年は81年QROの年で日数234日QSO件数2,300、うち海外700。91年以降アクティビティ激減。現状では、移動運用が主流になっています。

アワード、75年21MHz WAC、79年KCJA IV、79年JCC500 [DX] DXCC 100余り、アワードなし。

移動運用、6D、FD サービスなど通算100回を超える、今では主要な運用形態となっています。



4)今後の行動:

やってみたいことは、オスカー軌道の SAT 運用で地球真横と裏側との交信。

5)CW の思い:

少年時代の戦時中に和文を記憶しようとしていた。その動作は、戦後も続き、一生懸命覚えようとした符帳による覚え方でした。そのためか CW 受信時、符帳が脳裏を巡り、受信文字が繋がらず、ラバースタンプ以外はメモ書きを余儀なくしている現状です。最近、早い和文は、とれなくなってきました。

エピソード: VK との交信「私は、名古屋に行ったことがあります。」「あなたは、オーストラリアに来たことがありますか?」もちろん欧文です。コンディションは決して悪くないのに、前半の文句しか分かりません。そこで、コンディックス不良を理由に、サヨナラとしました。後文は、書いたメモを後で読んで分かったのですが、恥ずかしさで一人赤面していました。(英語能力もあげないとね)

7)無線以外の趣味:

登山 (遠くの名山を見たり、撮ったり、ときにはアンテナを張りポータブル QSO)

8)一言:

” I ” で隣 1 軒だけの家庭用漏電ブレーカが飛ぶ (古い配電盤設備だから)、自局が、新しい配電盤に交換しなければならないのか! ” なみだ ” です (どなたか対処法教えてください)

JA3ATJ 坂井 紀久男

1)自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

最後の旧 2 アマの国試だったと思います。1958 年のクリスマスプレゼントが JA3ATJ の予備免許で、翌年の秋に落成検査でした。その後 5 年以内に電信だけ受ければよいということでした。

開局以来、QRT をしたのは、家を建て替える期間の約半年だけ。もちろんアクティビティの波は大ありますが。

小学校 3 年生くらいのとき、復員した人にモールス符号の存在を教えてもらい、かっこええなあと思いました。5 年生くらいから鉱石ラジオ、中 1 で並 4 を見よう見まねで組み立てていました。やがて民間放送が始まり、スーパーへの改造や、近所のラジオの組立てなどやっていました。高校のとき友だちがライセンスを得たので、バックノイズと称して京都の 2 文字コールの人たちとよく QSO をしました。

56 年 2 月 卒業式を待たずにブラウン管工場にかり出され、しばらくは無線どころでない状態でした。56 年秋 工場が京都から高槻に移った機会に、住まいも移したのですが、58 年の予備免が来た前後に、高槻クラブ発足の準備中との新聞記事を見て「高槻には誰も友達がいないのですが」といって入会させてもらいました。仕事の方は定年後も技術支援で月に 10 日の稼業を 05 年暮まで続け、ほぼ 50 年の終止符を打ったばかりです。

ライセンスは、腕試しに 電信級 を受け、指定事

項の変更もしましたが、それでは 1 局も交信しないまま、2 アマ移行で、本格的電信にデビューしました。ところが、すぐ近くに引っ越してきた 故 JA3MKP 岐田さんが 4 エリアのコールで “ /3 ” を打ってくるのですが「この人なんで毎回 73 と打ってくるのだろう」と思う程度の技術でした。Hi やがて友達が貸してくれたバグキーのお陰で 70 年 JA3XPO の運用委員を担当し、CW をメインに楽しみました。50MHzCW で 1 エリアとできたのが印象に残っています。

その数年後、ふすま 1 枚隔てて 2nd が寝るようになったので、以来 CW がメインになりました。もしも、14MHz が 1 アマでなければという制度だったら、落ちてても落ちてても、会社を仮病で休んででも受けに行っていたことでしょう。

2)無線局の構成(その推移):

自作からスタートし、いろいろ変遷はありますが、現在は FT-1000MP、IC-7000、IC-736、高い周波数帯も IC-xx です。1.9~7 MHz は ATU + LW、WARC BAND が DP、あとは Beam です。22m のクランクアップに、いろいろ載せています。

3)主な無線活動(アワード、DX、移動など):

国内コンテストによく出ています。DX からの QRV は今年 1 月の 8Q7SK が初体験でした。

なんでも新しいものにすぐ飛びつくのが習性で、VHF の SSB や CW、OSCAR、パケット通信、最近では D-STAR などに熱中してしまいましたが、SSTV のように初めの段階で頓挫したものか。いくつもあります。

前述のように、高槻クラブの発足と同時に飛び込んだ関係から、いくつもの役員を担当し、なかでもクラブの機関紙編集は、40 年ほど担当しました。クラブ代表者会議に行くうちに、JARL 旧関西支部の役員を皮切りに、支部や連盟の各種委員および評議員(6 期)、コンテスト委員長(3 期)などを担当しました。理事会にも 1 期 2 年だけ出席を許されましたが、行いが悪かったからか(Hi)、あとが続きませんでした。

4)今後やってみたいこと:

叶わぬ夢もいろいろありますが、無線を生涯の趣味として楽しみたいと思っています。

5)CW に対する思い:

深夜家族にじゃませず、じゃまされず、省エネにも貢献で、いいことづくめではないでしょうか。

7)無線以外の趣味:

写真、ハイキング、鉄道。無線同様どれも中途半端。

8)その他一言:

エレキーでさえ、手送りではないと言われてしまいますが、そこまでとし、メモリーもほとんど使いません。コンテストでは、とちってばかりですが、それでも紙ログ(提出はもちろん電子ログ)にこだわっていて、ロギングソフトを敬遠しています。解読器やキーボードから(モールスを知らなくてもできる)というには、どうも抵抗を感じます。

JE3PED (JP1AVW) 佐野 貴英

- 1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):
 1970 年頃から BCL/SWL で無線界? スタート
 1975 年開局、主に 7/21MHzSSB で JCC/JCG の
 追っかけとともに SWL JA3-9171 で CW-SWL。
 1982 年就職と共に東京板橋区で JP1AVW 開局。
 1996 年まで板橋区、葛飾区で QRV。
 1996 年 U ターン転職で京都へ(97 年京田辺市市
 制のためと言った人もいましたが)現在に至る。

2) 無線局の構成(その推移):

TRCV: TS-520→TS820→FT-101E (JP1AVW)
 →TS-670→TS680→FT-102(JP1AVW)→FT-757GX
 (移動局) QRP 用 TRCV: TS130、DC-7X。

現在の ANT は Butternut 一本のみ AMP も引越
 し梱包のまま、何年も火を入れていないので動くの
 か?? 古いですが TS-820/FT-102 は現役。もう何
 年 NEW-TRCV にお会いしていないのでしょう。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

コンテスト、アワード、DX、JCC/JCG/AJA 中心。
 最近は急に市が増えて WACA の上がりにならない
 のが悩み。

学生時代は徹夜でコンテストなんて参加していま
 したが最近は気力、体力とも低下気味。したがって、
 休日のみ運用で、移動運用も計画立たずです。

4) 今後やってみたいこと :

海外運用。86 年に 3B8 でトライしようとしたこ
 とがあります。今後関連会社など海外赴任の辞令が
 出たら必ず QRV すると思います。

5) CW に対する思い:

ときおり KEYING ミスしますがシンプルでリズ
 ミカルなのが魅力。

7) 無線以外の趣味:

音楽鑑賞、古寺巡礼、ウォーキング、料理。

8) その他一言:

開局 30 年が過ぎました。よく続いたものだと自
 分なりに思っています。今後もマイペースで続けて
 いくつもりです。

JH3EZV 勝本 健

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

- 1947 年 自宅のラジオで隣のラジオに妨害が出
 る事実を知る。
 1954 年 SWL 日本短波放送(NSB)が開局の際、
 自作 5 級スーパーに NSB チューナ(単に同
 調・発信コイル+リード線 5 本)を取り付けて聞
 いた素人無線局が始まりだった。
 1968 年 従事者免許取得、
 1970 年 無線局(JH3EZV)開設。
 その後 JE1SNY・JJ7QOU・JQ2FND など
 も……。

2) 無線局の構成(その推移):

恥かしくて紹介できる品物はない。

ANT の利得は 0dB 以上のものを使ったことがな
 い。



【海から見たプラットフォームの全景】



【ベッド・ルーム内の JJ7QOU のシャック IC-726 を使用】



【居住地区の手摺に取り付けられた AH-3】

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

やはり、結果から見て……、
 77 年 CW-WACA(No.1) を完成、
 90~91 年 JA 初の Off-Shore IWAKI(Plat-Form)
 から QRV。【上の写真参照】

4) 今後やってみたいこと :

真空管式自作機(QRP)で電波を出したい。

5) CW に対する思い:

何となく無線通信をしているらしいところ。

音の面でキー以外に周囲へ迷惑をかけない。その他(家族)は大いに迷惑をかけていると思うが・・・。

未だに『ホレ』は NG。呼ばれる方は GIVE UP で、専ら呼びにまわる方ばかり。

7) 無線以外の趣味：

読書(雑学)、音楽鑑賞 (Popular & Classic)、スポーツ全般 (近年は専ら観賞派)、市民マラソン(42km ≧L)、Alcohol (少々)。

8) その他一言：

おかげで難聴になりましたが、これも自業自得です。『人生に必要なのは心身の健康と行動力、お金が少し』

JH3HGI 吉村 豊樹

1) 自局の歴史 (免許時期、QRT 期間など)：

1970 年 6mAM オンリー10W で開局、71 年から SSB に QRV、75 年～78 年は QRT。

79 年から 50W に QRO とともに CW に QRV。

90 年に 500W に QRO するとともに新たに移動する局を開設。

2) 無線局の構成 (その推移)：

これまでに使ったリグ：2E26 使用 6m 自作機、FT-101, FT-401, FT-900, FT-767, FT-726, FT-736, その他 (いずれもヤエス製)。

現在の構成：FT-847, FL-7000 (リニアアンプ), FT-100DM, FT-857DM。

3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など)：

アワード (KCJA, AJA, その他)、移動運用 (サテライトを含む)、コンテスト、自作。

4) 今後やってみたいこと：

一応、今やっていることを継続したいです。

5) CW に対する思い：

プロの世界から消えた今、我々が残していかなければいけないモードだと思います。子供が小さかったころ、私のアクティビティを保つのに役立ちました。

7) 無線以外の趣味：

ドライブ、ゴロ寝、工作、音楽 (ブルグラス、カントリー)。

8) その他一言：

サテライト通信をやりましょう!!

JH3PTC 川口 勝正

1) 自局の歴史：

1969 年頃 (中学生時代) に SWL (JA3-6532) 開始、CW を覚える。

1971 年 開局 (高校 1 年生)、

1988 年 ごろから QRT 気味、

2006 年 単身赴任先 (潮岬) で復活か？

2) 無線局の構成：

IC-706、ダイポールアンテナ

3) 主な無線活動：

国内、DX、コンテスト、過去にはサテライト (AO-6、7、8) もしていました。

4) 今後やってみたいこと：

1 日中、無線をしたい。

5) CW に対する思い：

プロの免許を取るために毎日受信練習をした苦しい思いがあります。

83 年に 1 級無線通信士に合格してからは楽しく CW を運用しています。

7) 無線以外の趣味：

パソコン、ホームページ作成 (アマチュア無線に関係のないものですが、97 年から運営しています)

8) その他：

転勤が多く、単身赴任生活が長くなっています。あと最低 10 年は転勤族です。現在は、本州最南端の潮岬にあります。窓を開けると水平線や航行する船舶が見えます。ロケーションがよいところなので、無線も復活しました。聞こえていましたら、よろしくお願いします。

JL3BDA 水田 政宏

1) 自局の歴史 (免許時期、QRT 期間など)：

1995 年 6 月開局 … 4 アマ

1998 年 6 月 … 3 アマ

2002 年 1 月 … 2 アマ (HF100W)

2006 年 5 月 … HF200W へ

2) 無線局の構成 (その推移)：

開局から 2～3 年は、TM-255 で 2mSSB の移動主体。

96 年 12 月に現住所へ引越してから HF を始める。

98 年から FT-847M(50W)で HF の移動を始める。

無線機は最初の 5 年は KENWOOD 系が多く、その後は YAESU 系のリグだけしか使用していない。

3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など)：

とにかく移動運用が好き (月 1～2 回)。細く長く無線を続けていきたいと思っている。

4) 今後やってみたいこと：

やってみたいことはいろいろあるのですが、仕事柄、暇がないです。

5) CW に対する思い：

CW をやっていなければ、無線を続けてなかったと思うので、ローカルの OM にはすごく感謝しています。

7) 無線以外の趣味：

春～秋は、ゴルフ(健康のために年 4 回程ラウンド、腕前は???)。冬は、スノーボード (1 シーズン 10 日以上出かけ、北海道・東北などにも遠征)。



JR3KQJ 中島 昌己

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

1973 年 開局、半年後に電信級に合格して局免到着前に 1st CW QSO(でもガタガタで早々に退散)、



1 年後に 2 級。1 級は和文で何回かすべりました。

MIX で年間 2,000~6,000 局ほどのアクティビティを維持していますが、最長の QRT は BV 出向時の 8 か月間で、次は入院の 5 か月間です。(_ _)

2) 無線局の構成(その推移):

開局は兄の使っていた 50B ライン、夜な夜な同級生との 21MHz でのラグチュウでスタンバイしたら 1kHz はずれていました。コンテストでの混信対応はこのリグで鍛えられました。その後は廃局したローカルの中古リグを乗り継いで、現在は FT-847 を愛用しています。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):



たいていのことには首を突っ込んでいますが、AJA と JCA アワードに夢中です。

コンテストや移動運用や地域クラブ活動もやっていますが、DX は語学力不足でどうも苦手です。

昔は高 1 中 2 や 144MHz の 7 エレ・14MHz の HB9CV を作ったこともあります。最近は趣味で半田ごてを持つことはほとんどなくなりました。

4) 今後やってみたいこと:

リタイヤしたら、山の上シャックを作って運用してみたいですね。見果てぬ夢ですが。

5) CW に対する思い:

QRO やアワード・コンテストの手段として始めた CW ですが、今や生活の一部のようになっています。

7) 無線以外の趣味:

以前は神鍋山に毎週スキーに行ったこともありますが(実は XYL はその縁です)、3 年前にスキー靴のプラスチックが空中分解してからはご無沙汰です。

8) その他一言:

最近は耳でワッチよりも目でディスプレイを追いかけている方が多いような気がします。まさかこんな世の中が来ようとは・・・。

JR3XEX(ex JA9QOG) 伊達 壽夫

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

1974 年 2 月 14 日 開局(京都府宇治市にて)

1974 年 11 月~2006 年 2 月 28 日(京都府与謝郡加悦町)

2006 年 3 月 1 日~(京都府与謝郡与謝野町(合併による))

1976 年 12 月 電信級、2 アマ

1977 年 8 月 100W 落成検査合格

1979 年 10 月 50W 変更検査合格(移動)

1979 年 12 月 1 アマ

1980 年 9 月 500W 変更検査合格

QRT 期間なし(3 度の飯よりスキ)

2) 無線局の構成(その推移):

マルチ 7 ライナー 2DX 10 エレ×2 八木→宇治時代。

FT-101B, FL-2100Z, FTV-650B, IC-201 ライナー 430 → これで SAT やっていました。

3.5/7MHz DP, 14/21/28MHz VS33, 144MHz 11×4 八木, 430MHz GP, タワー KT-7。

その後、FT-280, 680, 690, 780, TS-130, 140, 700, 770。DP/WARC 4 エレ HB9CV/50 15×2/430 仰角ローター。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

アワードは開局当時からかき集めていた。VU なのでスペル物が多かった。144MHz 移動(71 年頃から)での 144/AJD/No59。その後は KCJA に没頭?? DX は 203/236。

移動は、前述の 144MHz 移動→この地はものすごくいい場所あり JA1 と JA6 から同時に呼ばれてパ

ニックになった。現在は、キャンプ場などのアウトドア運用、モービル運用にはまっています。しかし、ふだんのQSOと区別するため、月末の土日（好天）をあてています。

コンテストは大好きでCW中心に国内外に出ています（いましたHi）。

優勝は、JLRS/電信/電話、その年の総会に招待されましたが行きませんでした。残念！（XYLの目が怖い！）あと京都コンテスト総合優勝（今でも言いつづけていますが電信部門がない、）。)

JA1AYCさんの「ザ・キー」編集長時代、アクティビティ RPT にサマリーの写しを同封して送っていました。

4) 今後やってみたいこと：

KCJAを最大の目標としてきましたが、どうやら限界に近くなってきました。

移動運用も、合併の「特需」で好評でしたが一段落。この辺でひとつ、起死回生のヒットが欲しいものです。5) にも関連しますが、個人から仲間へと戻りたいと思っています。当地のクラブもご多分に漏れず低迷していますが、すごい職人がたくさんいます。毎年、秋のイベントに参加しアマチュア無線をアピールする機会が多い町なのです。その大きな理由は、(新) 与謝野町の初代町長は、アマチュア無線家しかもYLであります。もちろん私も30数年の付き合いで、四季の野外活動にもよく一緒にいきました。なんとか仲間をまとめて当地を全国（世界）にアピールしたいものです。終の棲家はここなのですから、。)

5) CWに対する思い：

だんだん、回顧調になってきました。4) のとおりです。なんとか、この妙なるトーンをなくさないように、後継者に渡したいものです。

欧文で平文のQSOができると、また楽しいでしょう。訓練もいりますね。QRPもかなり普及してきました。これも聞く訓練がいります。

自作機で出ておられる方が本当にうらやましいです。100%素晴らしい耳(読解力)を持っておられます。

7) 無線以外の趣味：

野外活動（ボーイスカウト活動）、伝統的建造物、古美術、旅行、宴会。

JA4BLO 出羽 吉次

1) 自局の歴史（免許時期、QRT 期間など）：

1960 年 従免 2 アマ。

1962 年 局免。

以来、本日まで和文 CW オンリーみたいな QSO ぶり。

2) 無線局の構成（その推移）：

U,V 用：トリオ 9000G グループ。

H F 用：TCS（アメジャン）を長い間使っていたが、今は IC760, FT847 を愛用している。

これ以上の Rig は高嶺の花。Hi

3) 主な無線活動（アワード、DX、移動など）：

A：2mCW のキー局毎 水曜日 19:00-22:00。かつては 3, 4, 5, 6 エリアの瀬戸内海を囲む地域からの応答もありにぎわっていたが、このごろは OY 地区だけみたいとなり、さびしい限り。

B：モールスを忘れないため、アチラコチラのコンテストに参加しているが、フルタイムの参加が難しくなってきた。Hi

4) 今後については、年齢のこともあり、多言は差し控えることとしたい。

5) CWに対する思い：

1934 年海軍に志願して得た技能、血も涙も含まれている。特に和文は日本語で話が通じ合う代物。大切に温存したい。

7) 無線以外の趣味

最近 PC に時間を取られ、庭の手入れが遅れがち。特に今年は草ぼうぼう。

JA5CUX 生越 重章

1) 自局の歴史（免許時期、QRT 期間など）：

1963 年（中学から）。

2) 無線局の構成（その推移）：

6AQ5 シングルからスタート（まだ使えます）し、現在はコンパクトトランシーバで運用しています。高級リグは持ったことがありません。

3) 主な無線活動（アワード、DX、移動など）：

移動運用（国内外）。

4) 今後やってみたいこと：

衛星通信、古い無線機を使った通信。

5) CWに対する思い：

低電力通信手段として一生付き合っていきたい。

8) その他一言：

アマチュア無線は、気分が乗ったとき気軽に楽しめる趣味としたい。

JE6QFP 長田 義廣

1) 自局の歴史（免許時期、QRT 期間など）：

1980 年 2 月 電話級 JE6QFP 開局、その後 144 MHz SSB に没頭。

89 年 10 月 2 アマ取得、今では時効？ですが、2 級取得直後の 11 月に VK4BIF と 7W 出力で CW 初交信（変更申請前）冗談で送ったコールを拾ってもらった。144MHz SSB しか知らなかった私にとって正に「目から鱗(うろこ)が落ちる」思いでした。以後は、CWの「虜(とりこ)」になりました。

CW 免許を得て KCJ を知り、入会の希望をもちましたが、当時は CW 歴 5 年の年季が必要でした。約 3 年、年季明けを待って入会しました。

90 年 11 月 1 アマ取得、KCJ 年季待ちの間に CW でのコンテストに「はまり」ました。またその後、CWでの移動運用にも「はまり」ました。

とにかく、熱くなりやすい性分ようです。

2) 無線局の構成 (その推移):

開局当時: IC251 GP、翌年 ANT は、11 エレ x 2 x 2 八木にグレードアップ、プリアンプも限界近くに増強、強い EME 信号は受信可能なレベルでした。

CW 運用開始: 89 年 11 月: TS120V 7W

90 年 12 月: TS940S Limited + V ダイポール、以後 TS-570S, TS-60S, IC910, TS-790S, ETC。

3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など):

コンテストは、大好きですが、現在あまり出られません。土日家庭の仕事が増えすぎたため AJA-CW, KCJA のポイントアップが継続している目標です。現在は、SAT に「はまり」です。

4) 今後やってみたいこと:

サンデー毎日になってから、開局当時からの夢であった EME に挑戦したと思っています。

5) CW に対する思い:

SSB は、50MHz E スポ時のみです。また、ローカルコンテスト時に V/UHF 帯の FM に出る程度です。総交信数の 95% 以上が「CW」によるもので、どっぷりと CW はまっています。SSB は、50MHz E スポ時のみの思いを通り越して、ほぼ「CW」オンリーでの思考回路に洗脳されています。

JG6CDH 阿部 晋三

1) 自局の歴史 (免許時期、QRT 期間など):

1983 年 11 月に長崎市で開局、以来 4 度の再免許を経て現在に至っています。

その間、運用場所は、長崎、唐津、横浜、名古屋、長門、広島、和歌山県西牟婁郡、佐世保 (伊万里)、北九州小倉南と移り、現在は島根県浜田市にいますが、アクティブに運用できたのは、唐津、横浜、鹿児島 以降 6 エリアにいる間くらいでした。

2) 無線局の構成 (その推移):

開局当時は、真空管リグと TR リグの入れ替わりの時期、開局後 TS-830 の音 (送信音) のよさに関心を持ちましたが、開局時に私が採用したリグは FT-102S でした。このリグも機能充実の FB なリグでしたが、真空管リグの TUNING 操作が面倒で、間もなく FT-757GX (CW 受信音がたいへんすばらしい) に乗り換え、アイコムから発売された ATU (IC-AH2a) とコンビで使用しだしてからアクティビティが急速に Up しました。その後、かつて TS-830 の CW の音に持った好印象から TS-940S を衝動買いし、このリグと ATU+針金 ANT の組み合わせはサイクル 22, 23 のときのメインシステムとして CW DXCC200, CW WAZ, ADXA (CW), WAVKCA (CW) 等のアワード取得に活躍してくれました。最近ではアイコムの IC-746, IC706Mk2G を主に使用していますが、アイコムのリグは周波数制御等の使い勝手がきめ細かくてよいと感心しています。また、必需品である ATU (アイコム製 2 台) との相性のよさもうれしく思います。

ローパワーと ATU (針金 ANT) で QRV してきましたが、次のサイクル 24 ピークごろには、せめて 200W と簡単なビーム ANT ぐらいにはシステム Up をしたいなと願望しています。

3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など):

細々と CW によるアワードハントを楽しんでいます。これまで閉局せずに続けてこられたのは、曲がりなりにもアワードハントのおかげでしょう。和文などをメインにやっていたら、とっくの昔に閉局していたと思います。こつこつやってきた CW DXCC が、現在 270 程、残りの大部分はカリブ地域とアフリカの中西部地域で、現用設備ではたいへん難しくなってきました。ここ数年 CW WACA と CW WAGA 狙いがメインでしたが、完成まであとわずかもう一歩のところまで止まっています。VO-52, FO-29 の低軌道 SAT-CW 運用も、軌道に乗り、おもしろくなりかけたところで中休みしています。

4) 今後やってみたいこと:

以前 RTTY は QRV が困難で、また、時代遅れのモードだと誤解していましたが、MMTTY のおかげで手軽に楽しめるようになり、そのピロピロ音の軽快さには新鮮な驚きを覚えています。そのうち 50MHz あたりでの RTTY による JCC/G ハントなどもおもしろいかな? と思っています。

5) CW に対する思い:

運用の大部分が CW (逆に言えば、SSB による運用はほとんどありません)。軽快な CW 音を聞くことが理屈なしに好きで、ストレス解消の基? です。

7) 無線以外の趣味:

趣味と言えるか? ですが、温泉浴 (主に日帰り) が好きで、これまで 20 年程 QSY してきた全国各地の温泉のかなりの数をこなしています。和歌山の白浜温泉はすばらしかったですし、鹿児島では、家の風呂に入るよりも市内にたくさんある温泉に行く方が多いくらいでした。当地 島根にもよい温泉が多くあるようで、無線が思うようにできないここでの最大の楽しみになりそうですが、逆に今が、無線以外の趣味を作るよい機会でもあります。

8) その他一言:

JARL 発行アワードの運用場所制限、従来「同一都道府県内からの運用」という制約があり、数年前からは「同一エリア内運用」というように緩和されています。しかし、この制限に何の目的、メリットがあるのでしょうか。この制限が JCC/G ハント等にこれまで大きなネックとなっていて QSY 族などには不公平なものと思えません。せめて「同一国内陸上」くらいにしていただけなのか、今後、柔軟思考の JARL 役員の方々に期待します。

JI6TJL/1 扇 隆一

1) 自局の歴史 (免許時期、QRT 期間など):

1969 年 (10 歳のころ) から真空管ラジオなどの自作に熱中し、短波帯でアマチュア無線を聞きはじ

めたのがきっかけで、中学時代に電話級免許取得。高校でクラブ局に所属。個人局も2エリアで開局。その後プロの通信士を目指して進学。勉強? にいそしむためにQRT。1通・1技まで取得・就職して数年後に現コールサインで九州にて開局。当時職場の上司がJA3AA 島 OMだったのでその影響でアパマンながら国内コンテストに没頭する。(KCJAのために島OMと50~1200MHzのリグを積んで九州全県移動運用も実施。)



現在も転勤族・アパマンなので自宅にアンテナが常設できず、年間5~6回本格的な移動運用で国内コンテストに参加。電波を出すためにその都度アンテナを設置するなど苦労が多いので「コンテスト界の"おしん"」との異名を持つ。

2) 無線局の構成 (その推移):

スカ6、FD-AM3D、FT-400S、FT-101E ライン、599 ライン、RJX-601、RJX-661、TS-311、FT101ZD ライン、TS-820S、FT-620B、TS-700、FT-726、IC-760、IC-1275、IC-726 等を経て、現用機は FT-847M×2 台、IC-706MKGM×2 台、FT-817(QRP)、IC-910D、IC-756pro (改50W) など。

3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など):

国内コンテスト (CW 部門) 中心。

4) 今後やってみたいこと:

衛星通信。定年後は、九州 (熊本) に戻って DX も本格的に始めたい。

5) CW に対する思い:

何歳になっても続けたい。学生時代の恩師や元上司も現役で頑張っているし・・・。

7) 無線以外の趣味:

バイク、釣り、ドライブ、バイクレース観戦。

8) その他一言:

無線に関係が深い本業以外にも、某業務用無線局の準オペレータとして不定期で勤務するなど、超多忙な毎日です。そのため、移動運用でコンテストに

参戦をする回数がかぎられ、アンテナ類設営・撤収・24 時間フル参加するだけの体力がなく、年間数回部分参戦するのがやっとです。(貧乏暇なしの生活)

JA7AEM 樋口 知雄

1) 自局の歴史 (免許時期、QRT 期間など):

1960 年 3 月 7,14,21 の CW オンリー10W で移動局を開局。5 年後廃局

1967 年 6 月 3.5~50A1,A3 10W で再開局

1968 年 1.9 を 1971 年に 144 を追加

1990 年 50W に QRO。その後 430,1.2G 10W を加え現在に至る。これらの移動局とは別に、

1971 年 9 月 HF150W の固定局を開局

1973 年 11 月 500W に QRO 現在に至る

2) 無線局の構成 (その推移):

開局当時は 6L6G,807 等を終段とした自作機。

初めて使ったメーカー製リグは、50MHz の井上電機 FDAM-2、トリオ TR-1100。144MHz はそのころはやりの富士通テンのタクシー機改造、終段 6360。HF の受信機はトリオの JR-310、その VFO 出力をコンバージョンし、ヤエスの FL-50 をトランシブ操作。固定局は FT-200 を改造し 150W に、500WQRO 時は、5F35R×2 のリニアを使用。

そのほか、これまで使ったリグは TR-2500、C-78、IC-21、IC-2300、HL-726D、IC-721、FT-728、FT-104、IC-575D、IC275D、IC-375D、IC-756PRO II 等・・・

今もシャックに飾ってあるのは、HF リニア、JR-60、終段 2B94 自作 144MHz リニア。

3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など):

現在は、国内コンテストに夢中になっています。それも移動運用による参加です。自宅にアンテナがあがっていないため、そうするより手がないのです。Hi

4) 今後やってみたいこと:

まともなアンテナをあげて、人並みの QSO をしてみたい。

開局当時は、田圃の中の一軒家だった我が家も、仕事をリタイヤして戻ったら、住宅密集地に。タワーを建てる環境ではありませんでした。悲しいー。

5) CW に対する思い:

少年時代の夢は、船舶通信士になって世界をめぐる。それが叶えられなかった、せめてキーをたたき続けたい。

7) 無線以外の趣味:

もっともっとアマチュア無線にのめりこもうと思っていますので、趣味と呼べるものは他にありません。

しかし、それではあまりにもさびしいので、XYL の実家から借りている畑での「農作業」としておきましょう。(まもなく、ジャガイモの収穫です)

8) その他一言:

単身赴任で各地に住みましたが、アマチュア無線のおかげで、その土地のクラブに入れてもらうなど、楽しい転勤生活を送ることができたと思っています。

リタイヤした今は、移動運用等クルマの運転にも、特に気を使うようになりました。

CW を忘れてしまわないように、できる限りアクティブに電波を出し続けようと考えています。

JA7GAX 長嶋 隆喜

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

ライセンスは 1958 年取得。しかし、貧乏で開局の環境になし。就職後会社のクラブ局で運用し、個人局開局は 68 年。約 10 年後の開局なので同じサフィックスの人たちより、およそ 10 歳年上になります。現在は主に AJA-CW その合間に DX。現在はサンデー毎日の身。細く長くをモットーにしてきたので QRT 期間はなし。

開局以来 QSL は 100%発行を信条としてきました。現在 98,500 余の QSO 数。ということは、受け取った QSL も数万枚となって整理が行き届かなくなっていました。log は 10 数年前に CQ 誌の付録についた Hamlog を使い始める。それまでの QSOdata 約 50,000 QSO の入力開始。全 QSOdata が入力を終えたのはその 3 年後。そのメリットは机の横に並んでいた幅 70-80cm の整理簿が不要になった。

2) 無線局の構成(その推移):

FT-50 で開局。結婚目前にあの FT-101 が発売され、結婚したらもう RIG は買えなくなると思い、結婚式の資金の一部が FT-101 になる。

同時に 50W ライセンスを申請。WARC BAND の 18/24MHz の開放を機に愛用した FT101 から IC-760 にして 10/18/24MHz のライセンスを申請。

郊外へ自宅新築を機に 500W 申請。あこがれのタワー 15m 高を建て 2eleCQ をあげる。初めての beam は別世界だった。あわせて 500W だと今まで呼んでも取れなかった世界から呼べば応えが返って来るようになった。しかし必死になって呼ぶこともなくなると逆に DX 熱も下がってくる。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

開局時から CW 専門。開局当初はコンテストに夢中になった。波を出しながら log に記入し整理簿を確認、記入しながら CW 送受信のマンパワーの競争。これはスポーツ競技に通ずるものがあると思う。コンテストの最高栄誉は ARRL DX competition で Asia continental winner になったことがある。high band 部門に参加したが multiband 部門の得点を上回り国内各誌の発表では multiband 部門で 1 位と発表されていた。時代が変わってパソコンがその大半を代わってするようになってからコンテストには興味がそがれ、今ではほとんどコンテストに出ることがなくなった。それに代わったのが移動運用。海外からの運用も同じスタイルで、アンテナは釣竿と φ1.2mm の銅線。KC6TO (nwT88) から始まって 3W2GAX・V63TN・KH2/JA7GAX・XU7GAX・XV2G・KH0/JA7GAX と 7 つの海外 callsign をこれまでに使った。2004 年末の XV2G/c の IOTA:AS-130 は 20 年以上 OA のなかった所として、当時は

IOTA ファンからインターネットで話題となっていた。

最近の JARL の QSL 転送は、おかしいと思っている。私から海外局へ buro 経由で送れない。送るためには、年間 ¥3,600x7=¥25,200 が必要。JARL 会員へは送れることになったが、私から見て海外局と同じ条件で発行している。これは私の主義だ。海外局と JARL 会員との差がなくなれば buro 経由で送るが、上記 7 局は現在は SASE ONLY にしている。

4) 今後やってみたいこと:

QRP に興味があるが、なかなかそこまで枯れた状態になれない。

5) CW に対する思い:

世界共通語だと思っている。発音や方言などを気にせずブロークンな単語の羅列でも CW なら通じることが多い。これが SSB だとそうはいかない。

7) 無線以外の趣味:

中学時代からはじめたソフトテニス。経歴 50 年を超えた。03 年全日本選手権大会 BEST16、04 年東北選手権大会優勝。同じ趣味の JA7SN 金森さんとは 05 年北九州全日本選手権大会で eyeball。この後は 6-4-5-3-2 (KCJ 総会参加) -9-0-7 エリアと移動運用を楽しんだ。

ひところ、黒鯛つりにも夢中になった。細い竿、糸での大物とのやり取りは一度知ると忘れられない。

8) その他:

テニスは後どの位続けたいかと問われあと 10 年は続けたいと答える。無線(CW)なら最期まで……。

JH7FQK 氏家 一夫

1) 自局の歴史(免許時期、QRT 期間など):

1974 年 開局、QRT 歴なし。

2) 無線局の構成(その推移):

開局時は 50MHz オンリーでしたが、その後 FT101、TS820 まで KENWOOD で、後に ICOM を愛用。現在は、IC-770DX と IC-706 を使用しています。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

ほとんどが国内コンテストです。昔は DXCC に夢中になっていましたが、資金が保たず今は無駄なこととはしない……に徹しています。

4) 今後やってみたいこと:

DX-PEDI。

5) CW に対する思い:

なんで CW を始めたかと聞かれると、いつもこう答えています……東北なまりがひどくて Phone では相手にされないから。

7) 無線以外の趣味:

スキー、バイクツーリング。

8) その他一言:

無線は CW に限ります。



JH7VOT 吉田 源蔵

1) 自局の歴史:

小学生の頃はラジオ少年でした。45年に海軍に志願した際モールス信号を習ったのをきっかけに無線のとりこになった。アマチュア無線技士資格を77年に取得と同時に開局以来今日まで電信のみで固定や移動運用で、一部重複があるもののこれまで交信した相手は5万局を超える。



【左 TS-900S 右 FT-736】

2) 無線局の構成:

開局当初、HF運用はFT-101ES 10W機で、現在はTS-940S 100Wに500Wリニアアンプを併用し運用している。VU運用ではFT736+50Wアンプを併用。3畳間のシャックで暇さえあれば4エレ八木から電波を飛ばしている。【写真上】

3) 主な無線局活動

77年4月開局して以来足かけ20年で、読売アワード1万局を達成した。全日本部門では299番目。その他JARL、KCJ等のコンテストに電信部門のみで参加。平常はKCJA、JCC、JCAアップを目標とし運用している。

JO7EGJ 坂田 宏記

1) 自局の歴史(免許時期、QRT期間など):

- 1973年 北海道函館市でJA8TVP開局(電話級)
- 1975年 電信級取得



1979年 上京&QRT

2002年 福島県を常置場所で無線再開
JO7EGJ(移動局)開局

2003年 千葉県松戸市でJA1BAS(固定局)開局

2004年 JO7EGJ(固定局)開局

2) 無線局の構成(その推移):

JA8-3699(SWL): 5球スーパー(自作)、9R-59D TS-520Xで開局(JA8TVP)

JO7EGJ: RIG FT-817, HT-750, MX-7S, MARK-V, TS-940S etc. ANT T2FD, G5RV, LW
標高600mの山の中でロケーションもまあまあですがANTはワイヤー系のみです

JA1BAS: RIG IC-756, F-850, FT725, IC1271 etc. ANT: MicroVert(自作)、MRDF(自作)、144MHz(5ele), 430MHz(10ele), 1200MHz(7ele-Loop), 2400MHz(28ele-Loop)。

10階建集合住宅の2階と条件はよくないですが、富士山が望めるロケーションです。

3) 主な無線活動(アワード、DX、移動など):

あまり目的意識を持っていませんが、コンテストが好きで、ちょくちょく参加します。RTTYやPSK31といったデジタルモードも最近挑戦しています。古い無線機をいじくりまわすのが好きです。

4) 今後やってみたいこと:

海外運用がしてみたいです。VoipでもCWがあると聞き、やってみたいと思っています。

5) CWに対する思い:

CWがしたくて無線を再開しました。和文・欧文とも不自由なく使いこなせるようになりたいと思っています。ゴールが見えないだけに、今後も長く続けられそうです。

7) 無線以外の趣味:

森林浴(ただ森の中でボーとするだけ)、天体観測も多少興味あります。

8) その他

無線再開直後に大病を患い、2度の手術を受けました。深刻な結果も宣告されていましたが、回復させてくれたのは家族と"無線に対する思い"のおかげだと信じています。

JA8AJE 笠原 勝

1) 自局の歴史(免許時期、QRT期間など):

1960年CW onlyで開局、オーディオ部分を作るお金がなくてやむなくCW only、5年後QRT、86年再開局、再開局後も部屋が狭くそばにXYLがいる状態で気恥ずかしく、声を出せなかった。CWはその点楽です。

2) 無線局の構成(その推移):

これまで使用したTRCV: TS-120, IC-720A, IC-731, IC-750A, TS-690, TS-870, IC-756, FT-1000MV, IC-756pro3 現役時代は2-3年ごとに変わっていました。新しいリグが気になって。今はそ

んなことはできません。Hi

- 3) 主な無線活動 (アワード、DX、移動など) :
コンテスト、アワード、DX。

コンテストにはまってしまいました。なぜ、おもしろいんだろう。

- 4) 今後やってみたいこと :

英語平文のチャット。

- 5) CW に対する思い :

特別な思いはありません。単に CW はおもしろいからやっているだけ。

- 7) 無線以外の趣味 :

SF (小説も映画も)、読書。

- 8) その他一言 :

最近「いつまで CW ができるかなあ」と思うようになりました。趣味であっても長く続けるためには、トレーニングが必要かもしれません。

JA8PON 五十嵐 誠治

- 1) 自局の歴史 :

私の CW は道ばたに捨てられていた TV から始まりました。学生時代の私にとって TV はお家の宝 BOX、生きている 12GB7、12BY7、6AQ5 を発見。TX を作る気になりましたが RX がないので、ラジオで受信可能で TX は VFO ではなく VXO でカバーできる 1.9MHz となりました。1.9MHz は CW オンリーなので CW の免許を取りました。何も知らない若者は、免許の日に堂々と TOP BAND で 25 字/分の CQ で CW デビュー、一斉に呼ばれ続け大パニック、当時お相手いただきました OM の皆様ほんとうにありがとうございました。

就職活動でヤエスとアルプスを受けるも交通費だけをいただいて敗退、転勤族となり道内を転々としています。

- 2) 無線局の構成 :

これまで使用した RIG は、12GB7/1.9MHz、6AQ5/50MHz から始まり、310 ライン、101、510、130、726 などです。珍しいところでは TR2 (2m 真空管) なんてのもありました。引越のたびに重い文句を言われながら運び続けました。真空管とトランスの入った段ボール箱は、とうとう処分してしまいました。

毎度のアパート住まい、転居のたびに ANT の設置で悩みましたが、そのつど何とかしてきました。今は ATU があり、とても楽になりました。ビーム ANT は使ったことがありません。

- 3) 主な無線活動 :

6m の E スポにはまった時期、コンテストに参加し続けた時期、DXCC、KCJA、WAJA、WAGA などのアワードを追いかけた時期、などがありました。今はのんびりと AJA を追っています。

- 4) 今後やってみたいこと :

またのんびりと 7MHz で W とラグりたいと思い

ます。昔々、雪の降る深夜のラグチュウ、むこうは早朝、NW MUST GO TO WORK/OK NW GO TO BED/GL U ES UR WIFE/TNX MY WIFE NW ZZZ

- 5) CW に対する思い :

CW のリズム感が心地よく、たまらなく好きです。家にいるときはバックグランドミュージックのようにどこかの BAND の CW が聞こえています。

- 7) 無線以外の趣味 :

釣り。赴任地により海になったり溪流になったり、節操がありません。今は十勝でニジマスを追っています。50cm 以下は放流サイズと言われるのですが・・・。

冬はスキー、スキーパトロールをしていたときもありましたが、今はのんびり楽しんでいます。



- 8) その他一言 :

愛車 88-73 号も 2 台目、CW マンとしては、次は 599 にかえようかと悩んでいます。

JH8CBH 佐々木 朗

- 1) 自局の歴史 (免許時期、QRT 期間など) :

1975 年 電話級アマチュア無線技士免許取得

1975 年 9 月 開局、

1977 年 電信級アマチュア無線技士免許取得、

1996 年 第 2 級アマチュア無線技士免許取得、

1997 年 100W 免許取得、

1997 年 第 1 級アマチュア無線技士免許取得、

2001 年 500W 免許取得。

主な経歴: 高校生の時 JA8YPY であけても暮れても無線三昧

大学生の時 JA8ZLU 無線クラブ創設

大学生の時 2m を使ってモールの講習

静内アマチュア無線クラブ JA8YXP に入って皆さんにお世話になる

恵山町アマチュア無線クラブ創設

冬の CW 講習会の講師 (毎年)

パソコン講習会講師 (随時)

2000 年函館総会 副実行委員長 (総務担当) 記念誌編集委員長

函館モース同好会 (現在)

JARL 渡島檜山支部幹事

非常通信ボランティア局登録

- 2) 無線局の構成 (その推移) :

1.9、3.5MHz ダブルダブレット、7MHz ダイポー

ル、14, 21, 28MHz 4エレ、144MHz 12 エレスタック、430MHz GP、10, 18, 24MHz ダイポール
1.9~28MHz 500W, 144, 430MHz 50W。

3) 主な無線活動（アワード、DX、移動など）：
特になし。

4) 今後やってみたいこと：

青少年に対するアマチュア無線の普及活動 および モールス通信の普及活動。

5) CW に対する思い：

アマチュア無線の原点である CW を、これからもたいせつにしたい。

7) 無線以外の趣味：

特にありません。

8) その他一言：

KCJ は私にとって、信頼でき、尊敬する諸先輩がたくさんいます。またいつか KCJ 旗の前に集えることを楽しみにしています。

JH8MWW 青山 武志

1) 自局の歴史（免許時期、QRT 期間など）：

1978 年 電話級にて開局 JCC#0105

1984 年~1988 年 7 エリアにて大学生活（電信級取得）

1988 年~1992 年 JCC#0107（2 アマ取得）

1992 年~1998 年 JCG#01028（1 アマ取得、KCJ 入会）

1998 年~2004 年 JCC#0111、

2004 年~ JCC#0135。

2) 無線局の構成（その推移）：

現在手元にある無線機は、IC706MK2GM、QRP キット機 3 台。

これまで使用した主な無線機は、IC-502, FT747 SX, TS50S, TS680S, IC746 など

3) 主な無線活動（アワード、DX、移動など）：

AJA や DXCC 等のアワードにはまり込んだ時期もあったり、コンテストに夢中になった時期があったりでした。また、常置場所にアンテナがないことから、移動運用に精を出していた時期もあります。PSK や RTTY 等を試してみたり、衛星（RS-12/13）にも少しだけトライしてみたりという状況です。

4) 今後やってみたいこと：

いつか DX ペディションに出かけてみたいと思っています。

5) CW に対する思い：

長点と短点だけのシンプルな世界は、ロマンです。ノイズの中から僅かに識別できる程度の信号でも、意思伝達ができるところに「ワクワク」「ドキドキ」を感じることができます。

7) 無線以外の趣味：

バイク、サッカー観戦、

8) その他一言：

ここ数年は、アクティビティが激減しており、今年にはいつの運用日数は僅か 3 日となっています。時間的な制約のみならず、無線に対するモチベーションの低下が大きな要因となっています。

無線機から聴こえるノイズや CW の音が、また日常的なものとなることを期待しながら、決して恒久的な QRT とならないよう努めていきたいと思っています。

JH9CAJ 成木 保文

1) 開局当時

1980 年 高専時代に富山にて JH9CAJ を開局、と同時に電信メインとなる。QSO を通じて KCJ を知り、KCJ 入会、青春時代を流くも"和文電信"を謳歌。

当時の 7MHz 和文 QRV 局は、ほとんどの局の名前を覚えていた。長い QSO では、連続 3 時間も電信で楽しんだ。よく話題があったものだ。大学、大学院とポータブル長岡市で QRV。KCJ OAM の KEY/SUBKEY 局を務める。

2) 長い QRT

87 年 上京後、六畳一間からスタート、約 9 年にも及ぶ長い長〜い QRT が続く。お空とのつながりがプツリと切れ、それでも電信の夢捨てきれず。せめてもと、HAM FAIR には毎年参加、ハムフェア和文電信同好会には、当時スタッフメンバーとして、第 1 回目からお世話させていただいた。（今年 06 で 20 回目!!）

3) 再開のきっかけ

95 年 JARL NEWS の第 1 回 HST 高速電信世界大会出場国内選抜の記事に一念発起、日本代表としてハンガリー遠征！これが、私の無線再開に向けたトリガーとして動いた。

同メンバーの JE1SPY（芦川氏）にアバマンハム開局について伝授を受け、翌 96 年 引越しを機会に念願の HF へ復帰。さび付いていた電気通信術も HST 参加のおかげで、ブラッシュアップ！感謝、感激！その 2 年後の第 2 回 HST 世界大会（ブルガリア）にも同メンバーで遠征。このことを 98 年 2 月号 CQ 誌へ執筆、JARL 史にも掲載される。

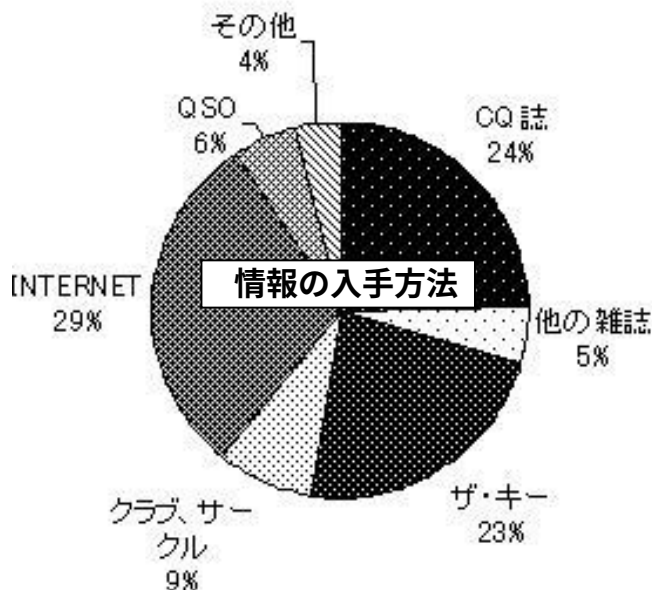
4) KCJ 共通 QSL カード

この頃、昔から構想として暖めていたデザインのアイデアを KCJ の共通カードデザイン応募し採用される（現在の KCJ カード）。これを機会に、KCJ 共通 QSL カードを作製。この後、KCJ の役員（会計）として、2 期務める。

5) アメリカンコール

仕事から短期 US 出張が多かったため、US での運用を考え、アメリカンライセンス取得構想を練り、行動に起こす。現地でテキストブック購入からスタート、ダラス・テキサス近郊の VET をいろいろと回った。インターネットがまだなかった時代、よく一人でやったものだ。約 1 年で全資格を W5 現地で

その後、PIC 使ったエレキー作りにもハマッタな！ 05 年春、当時の EH アンテナブームの中、あえて MV アンテナ、1.9MHz、3.5MHz 作製、大都会のアパマンハムが念願の 3.5MHz へ QRV、1.9MHz は機会を狙って設置予定。



やはりインターネットの利用が圧倒的なのは、時代の趨勢で、ついで会報「ザ・キー」と CQ 誌が均衡しています。KCJ で活躍すると同時に、地域クラブなど、あるいは JARL の組織の一員として世話役活動に携わっている会員が少なくないことが、右の円グラフから知分かるようです。

申込書： <http://www.jarl.com/kcj/> をご参照ください、KCJ ブースにも用意してあります。



Keymen's Century of Japan Award

☆ 1都道府県とのモールス符号を使用する電信による交信を1点とし、下記の規定の点数を得る。

ただし、1バンドにおいては、1都道府県との交信は1回に限るものとする。

100点・・・KCJA Class 100 さらに上位にステッカー

100～400点まで・・・50点増加毎

400～600点まで・・・25点増加毎

600点以上・・・10点増加毎

☆ クロスバンドの交信はこれを認めないが、衛星を経由する通信に限ってこれを異なる1バンドにおける交信とみなす。

☆ 申請にかかる交信はすべて同一都道府県内において行われたものでなければならない。
ただし、50MHz以上のバンドを使用する交信、または衛星を経由する交信の場合は、日本国内において行われたものであること。

☆ 申請者が、2以上のアマチュア局の免許を有する場合、または過去に有した場合には、それらの局で得たQSLを合算することができる。
この場合には、それらの局が申請者に免許されたものであることを明確にできる資料を添付することを必要とし、かつ運用場所に関する制限は前条のとおりとする。

☆ 詳細は、<http://www.jarl.com/kcj/>に掲載。

第27回 KCJ コンテスト規約

主催 全国CW同好会 (JARL登録 10-4-68)

日時 06年8月26日(土) 21:00～27日(日) 21:00 JST

参加資格 国内局：ゲスト運用を除く個人局・SWL
国外局：シングルオペ局・SWL

参加部門 国内局：マルチバンド、各周波数帯シングルバンド

国外局とSWL：マルチバンドのみ

周波数帯 1.8～50MHz帯 (3.8MHz帯とWARCバンドを除く) 160m帯は1810～1820kHzと1908～1912kHzを推奨周波数帯とする。
ただし国外局と交信するときは1820～1825kHzを使用できる。その他のバンドはJARL制定のコンテスト周波数帯とする。

電波型式 2×CWのみ

呼び出し方法 CQ KCJ TEST

交換ナンバー RST+KCJ 制定の都府県支庁の略称
(海外局：RST+大陸名略称)

【都府県支庁の略称】 下表参照 (国内局が使用)

宗谷	SY	留萌	RM	上川	KK	網走	AB	空知	SC	石狩	IS	根室	NM	後志	SB
十勝	TC	釧路	KR	日高	HD	胆振	IR	檜山	HY	渡島	OM	青森	AM	岩手	IT
秋田	AT	山形	YM	宮城	MG	福島	FS	新潟	NI	長野	NN	東京	TK	神奈川	KN
千葉	CB	埼玉	ST	茨城	IB	栃木	TG	群馬	GM	山梨	YN	静岡	SO	岐阜	GF
愛知	AC	三重	ME	京都	KT	滋賀	SI	奈良	NR	大阪	OS	和歌山	WK	兵庫	HG
富山	TY	福井	FI	石川	IK	岡山	OY	島根	SN	山口	YG	鳥取	TT	広島	HS
香川	KA	徳島	TS	愛媛	EH	高知	KC	福岡	FO	佐賀	SG	長崎	NS	熊本	KM
大分	OT	宮崎	MZ	鹿児島	KG	沖縄	ON	小笠原	OG	南鳥島	MT	[国内62マルチ]			

(完)

【大陸名略称】 (国外局が使用)

アジア AS オセアニア OC ヨーロッパ EU

北米 NA 南米 SA アフリカ AF (6マルチ)

得点 バンドごとに異なる国内局との交信1点、
国外局との交信5点。 [合計68マルチ]

マルチ バンドごとに異なる都府県支庁・大陸の数

第23回 KCJ TOPBAND CONTEST 開催予定

日時 07年2月10日(土) 21:00～11日(日) 21:00 JST

参加資格 国内局：ゲスト運用を除く個人局・SWL
国外局：シングルオペ局・SWL

周波数 160m帯のみ。ただし国内局相互の交信は1810～1820kHzまたは1908～1912kHzを使用すること。1820～1825kHzはコールサインを確認できた国外局を呼び出して交信する場合にのみ使用できる。

交換ナンバー RST+KCJ 制定の都府県支庁の略称

いずれも詳細は、<http://www.jarl.com/kcj/>に掲載。